

# 国語科において、児童の主体的な学びを実現する授業改善

—児童の自己調整を促すための支援を通して—

令和3年度 前橋長期研修研究員 赤石 貴郎

## 研究の概要

### 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編 P. 3総説（2）③

・子供たちが、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められる。

令和3年度前橋市「各教科等指導の努力点（国語科）」

・単元で目標とする資質・能力を身に付けた児童の姿を具体的に想定した上で、「必要感のある言語活動」を設定したり、手立てを精選したりして、児童が主体的に学習に取り組めるような単元や授業を構想する必要がある。

児童の実態

・学習したことを次の時間につなげようという意識が低く、自ら課題を見だし、解決していこうとする姿があまり見られない。

教師の指導の実態

・学習課題を教師が設定し提示することが多く、児童が思いや願いをもって最後まで粘り強く取り組めない。  
・教師主導で授業を展開しがちであり、児童自身が学習の見通しをもったり、学んだことを振り返って次の学習に生かそうとしたりするなど、児童が自ら考えて学ぶ機会が少ない。



### 目指す児童の姿

国語科の学習に興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次の学習につなげながら学ぶ児童

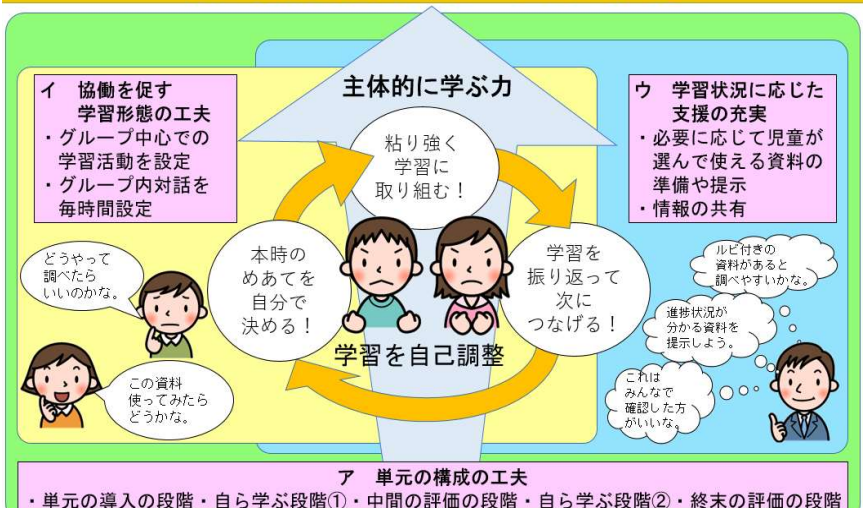
### 研究のねらい

国語科において、児童が主体的に学ぶ授業を実現するために、「児童の自己調整を促すための支援」が有効であることを、実践を通して明らかにする。

### 研究の見通し

#### 研究構想図

【目指す児童の姿】国語科の学習に興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげながら学ぶ児童



#### 手立て

【児童の自己調整を促すための支援】

##### ア 単元の構成の工夫

1 単位時間ごとに児童が自己の学習の状況を振り返り、次時の計画を考えることを通して、学習を自己調整しながら進められるようにする。そのために、単元の構成を工夫する。

##### イ 協働を促す学習形態の工夫

児童が相談や質問をしたり、自己の学習の状況を確認したりしながら意欲を持続し、学習を自己調整しやすいように、他の児童との協働を促す学習形態にする。

##### ウ 学習状況に応じた支援の充実

児童が粘り強く学習を自己調整しながら学習できるように、学習状況を見取り、それに応じた支援を行う。

# 実践の概要

第4学年 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう(伝統工芸のよさを伝えよう) 全9時間

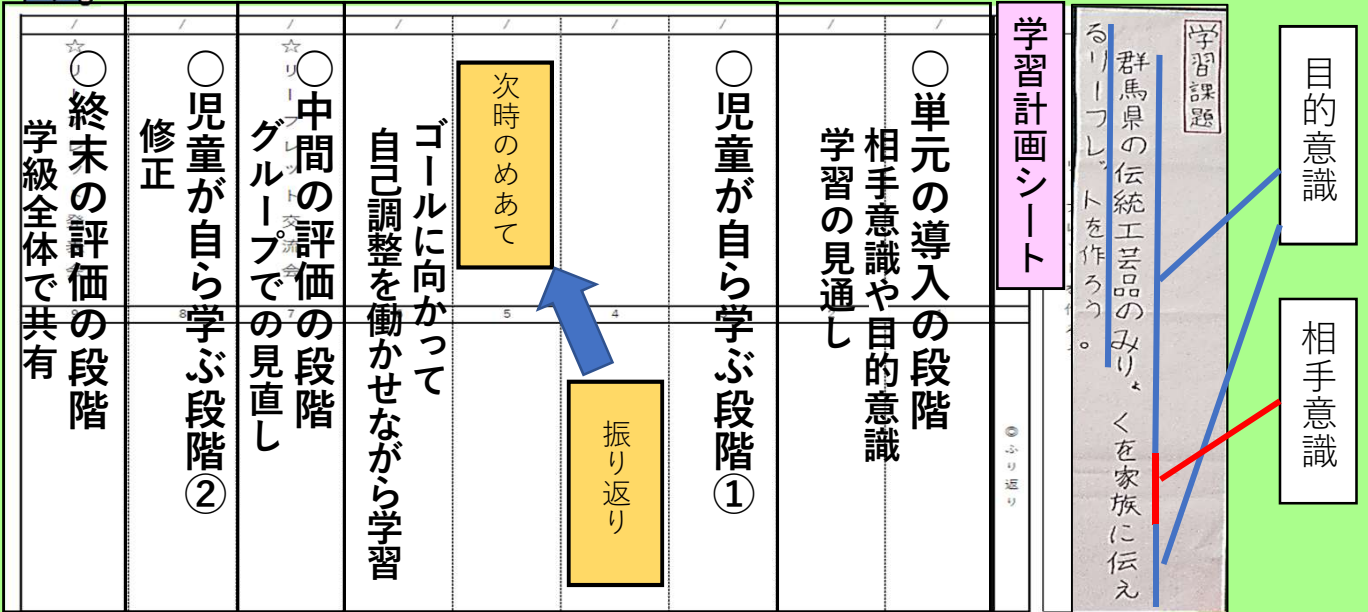
- 【目標】○比較や分類の仕方、必要な語句などの書きため方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。【知(2)イ】
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
- 【思(1)ウ】
- 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。【思(1)エ】
- 進んで自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫しようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとする態度を養う。【態】

## 手立て 児童の自己調整を促すための支援

### ア 単元の構成の工夫



相手意識や目的意識、学習の見通しをもたせるための「単元の導入の段階」。ゴールに向かって自己調整しながら学習する「児童が自ら学ぶ段階①」。グループでの見直しを行う「中間の評価の段階」。修正を行う「児童が自ら学ぶ段階②」。学級全体で共有する「終末の評価の段階」の五つの段階で単元を構成しました。



### イ 協働を促す学習形態の工夫



学習はグループでの活動を中心に行いました。意欲を持続しながら学習できるようにすることと、協働で学習することに必要感をもてるようにするために、グループを「会社」としました。

#### 「会社」での学習の流れ

個人の本時のめあての宣言



今日は○○をやります。

学習の遂行・相談



どうすればいいかな。



□□してみたらどうか。

「会社」内での学習報告



今日は○○をすることができました。友達のアドバイスを参考にして、明日続きをやります。

本時の振り返りと次時のめあての設定

「会社」でのめあての宣言



「会社」での学習報告



振り返りと次時のめあての設定

学習の遂行・相談

### ウ 学習状況に応じた支援の充実

児童が粘り強く学習へ取り組むことを支えられるように、児童を観察して見取った情報を基に、学習状況に応じた支援を行いました。



どうやって調べたら…



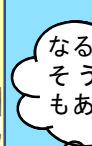
資料の準備



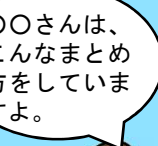
学習の進め方がよくわからないな…



資料の提示



なるほど…そういう方法もあるのか。



○○さんは、こんなまとめ方をしていますよ。



情報共有



情報の共有

ア

イ

ウ

単元の導入の段階



リンク集を活用して、相談しながら紹介したい伝統工芸品を見つける児童



友達と相談しながら、リーフレットを作る体験をする児童



資料の準備とリーフレット作りの体験ができるといいな。



取り寄せたパンフレットの配付



Webサイトのリンク集の送付



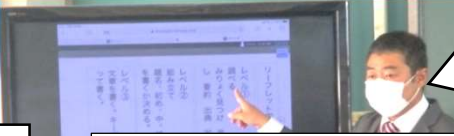
リーフレット作りの体験

児童が自ら学ぶ段階①

まず、みんなで協力して調べたことをまとめよう。



「会社」の仲間と相談したり、教師の送付した資料を活用したりして、リーフレット作りを進める児童



リーフレット完成までの手順の提示

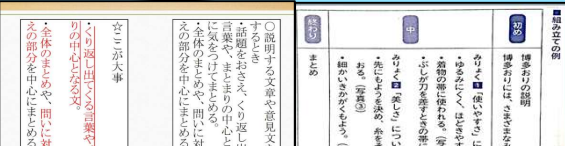
まず、調べたことをまとめましょう。次に、文章の組立てを考えましょう。最後にキーボードで入力して文章を作成しましょう。



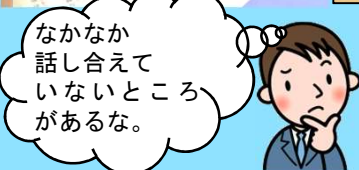
ルビ付きの資料と要約の仕方や組立て方に関する資料が必要だな。



ルビ付き補助資料の準備



補助資料の配付（要約の仕方、組立て方）



なかなか話し合えていないところがあるな。



「会社」に対する意図的な働きかけ

中間の評価の段階



ムーブノートの広場で共有した成果物の推敲をする児童



読み直す視点が必要だな。

- チェックリスト
- 自分が伝えたいみりよくが書けますか。
- 家族にみりよくが伝わるようになっていますか。
- まちがえている字はないですか。
- 段落など、書くことの約束はしていますか。
- 写真は、自分が書いた文章とあるものになっていますか。
- 出典を書くことができますか。

リーフレットを読み直す視点の提示

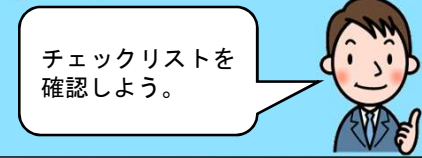
児童が自ら学ぶ段階②



友達からの助言を基にして、自分の書いた文章を練り直す児童



友達の助言を生かしているかな。



チェックリストを確認しよう。

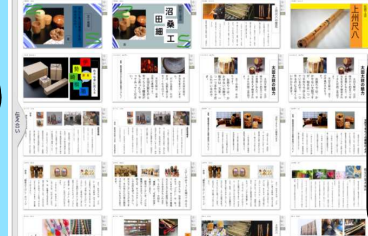


終末の評価の段階



家族になったつもりで互いの作品を読み合い、感想や質問を伝え合う児童

書き直した方が、家族に魅力を伝えられるかもしれないな...



ムーブノートの広場で作品を共有

お互いの家族になったつもりで読み合い、感想や質問を伝え合う。



# 研究のまとめ

## 手立て 児童の自己調整を促すための支援

### 学習計画シートの記述から

3	めあて : 自分の選んだ伝統工芸について調べよう。 振り返り: ①タブレットを使って作り方を調べた。次はもっとよさの理由を調べたい。
4	めあて : 調べる続き。時間があったら要約をしよう。 振り返り: ②明日は組み立てをして、月曜にはタブレットに打てるようにしたいです。調べることは終わったので要約したいと思います。今日は調べ学習をやると決めてめあて通りできました。
5	めあて : 組み立てをしよう。 振り返り: ③会社でやり方がわからなかったときに教えてくれたり、話し合ったりして要約を上手にできました。明日の国語の時間は、「参考」を書いて打ち始めたいです。
6	めあて : 組み立ての続き。できればレベル3（文章をタイピングで打つこと）をしよう。 振り返り: レベル3の「題名」「初め」が打てました。次は、「中」「終わり」「参考」を打ちたいと思います。

### 「会社」での児童のやり取りから

これって要約したの？えっ！そういう風を書くの！私は、こういう風に書いた。消そう…

ちょっとまって！なにに？

私はこう書いたけど…「こけしは群馬県の伝統工芸品です。こけしを作るのに…」

安心

こけしの説明になってるよ！だからいいんだよ。

ああ、そうか。ありがとう！

写真も入れられたし、レベル2（文章の構成を考えること）が終わったから読み合いっこしようよ。

待って！写真なんだけど、この文に合ったものを選ばなくちゃいけなかったから、もう一回選び直そう…一緒に選び直そうよ！

確かに

### 学習を振り返って次時の見通しをもつ児童の姿

### 対話を通して自己の学びを自覚する児童の姿

## 事前・事後アンケートから

質問項目		あてはまる	どちらかといえばあてはまる
「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習のとき、先生から学習者用端末に送られたもの（調べたいページのリンク、組み立て例、チェックリスト）を参考にしたか。	事後	69%	27%
「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習のとき、最後まであきらめずにがんばることができたか。	事後	86%	11%
国語の授業で文章を書くとき、最後まであきらめずに取り組んでいるか。	事前	64%	30%
	事後	70%	26%

#### 「教師が端末を活用することは

#### どのようなことに役立っているか」（児童の記述から）

- やり方や書き方がわかるし、他の人の画面もテレビに映せるから、友達がやっていることもわかる。
- 参考になったり、やっていることの意味が分かるようになったりする。
- 文字が見やすくなったことが役に立っている。
- 友達の文章がすぐに見られたり、自分の文章を先生に送れたりすることでアドバイスをもらえることが役立っている。

#### 「あきらめずにがんばることが

#### できた理由」（児童の記述から）

- 振り返りながら考えてリーフレットを作ったから。家族に魅力を伝えたいし、見てもらいたいから。
- うまくいかなかったときに、友達がアドバイスをくれたから。
- 先生がタブレットでいろいろ送ってくれて、それを見ればできるから。

### 見通しをもち、粘り強く学習に取り組む児童の意識の変容

## 成果と課題

#### 【成果】

- 「単元の構成の工夫」を通して、児童自身が学習の見通しをもって、学んだことを振り返って次の学習に生かそうとする姿が見られるようになってきた。
- 「協働を促す学習形態の工夫」をし、「会社」内でも相談したり、確認したりできるようにしたことで、意欲を持続しながら学習を進める児童の姿が多く見られた。
- 「学習状況に応じた支援の充実」を図ったことにより、児童が学習課題の解決に向けて、粘り強く学習に取り組むことができるようになってきた。

#### 【課題】

- ◇「中間の評価の段階」で「会社」内で交流を行ったが、これまでに口頭で文章の内容の相談をしていたこともあり、互いの記述に対してあまり効果的な助言をすることができなかった。相互評価を行うタイミングや交流する目的と視点について吟味することが必要である。
- ◇国語科の他の領域でも児童が自己調整しながら学べるようにするために、支援の質を高めたり幅を広げたりしていくことによって、授業改善を進めていくことが必要である。